



《現状把握》

算数においては、わり算の商の表し方、最小公倍数の求め方、正五角形における中心の角度の分割方法など、数量や図形についての知識・理解に課題がある。  
 ・国語においては、特に、既習漢字の定着、与えられた情報に基づいて条件に沿いながら書く能力に課題がある。

《授業改善のポイント》

- ・加減乗除の基本を繰り返し行い、基礎基本の定着を図る活動の充実。
- ・多角形の特徴を十分に理解して前提条件を明確にしなが、ICT等を活用して視覚的に訴える活動の充実。
- ・相手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問する指導の充実
- ・興味や関心をもって学習に取り組める指導の充実。

《チャートの特徴》

- ・このチャート図は、「全国学力・学習状況調査」及び「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果を表したものである。太線は全国平均を表している。
- ・本校の結果を見ると、生活習慣および算数への関心がほぼ全国平均レベルであるが、その他の項目は全国平均を下回っている。

《家庭・地域への働きかけ》

- ・「生活リズムカード」の有効活用をを続け、生活習慣や学習活動の維持改善を働き掛ける。
- ・学期ごとに1週間、家庭学習週間を設け、1日の起床・就寝時刻、挨拶、宿題や食事について児童と一緒に振り返る機会を設ける。